令和４年度　西部中学校バレーボール選手権大会
実施上の新型コロナウイルス感染症予防マニュアル

本マニュアルは、「令和３年度　静岡県中学校体育連盟　静岡県中学校総合体育大会実施上のCOVID―１９感染拡大予防ガイドライン」および、日本バレーボール協会による「JVA バレーボールガイドライン 2021.03.05更新版」等をふまえて、現段階で得られている知見に基づいて作成しています。今後の新型コロナウイルス感染状況などにより、随時見直すことがあり得ることにご留意ください。

【大会開催に当たっての基本的な考え方】

◇ **静岡県に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されている場合は、大会を中止、または延期する。大会期間に適用されていなくても、直前まで適用されていて、対外試合等が制限されている場合も同様とする。**

１　感染源を絶つ（参加者の健康管理）

２　感染防止の３つの基本

　　ア．身体的距離の確保　　イ．マスクの着用　　ウ．手洗いなどの徹底

３　３つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

４　安全な活動環境の確保

１．感染源を絶つ（参加者の健康管理）

（１）本大会の関係者（役員、チームスタッフ、選手等）は、体調記録表（別紙２）もしくは各校で使用されている健康観察表を使用し、大会開始２週間前からの記録を行い、健康管理を徹底する。

（２）チームスタッフは、大会当日に、参加者（選手・チームスタッフ・保護者・学校関係者）の同意書（別紙１）を提出する。これに、風邪の症状などが認められる選手やチームスタッフ等は、大会に参加できない。学校関係者の同意書については、会場入りしたときの提出でも構わないが、事前に提出する旨を伝達しておくこと。

インフルエンザの罹患については、発症後５日･解熱後２日が経過していることを確認すること。

（３）チームスタッフ等は、集合時、更衣時、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。

（４）大会本部及び、チームスタッフ等は、大会中に選手などの体調不良を確認した場合、医療機関や保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

２．感染防止の３つの基本

ア　身体的距離の確保

（１）開会式は実施しない。閉会式については内容を簡素化し、短時間で実施する。

（２）試合開始および終了時のあいさつは、エンドライン上で行い、握手はしない。

（３）出場校は、仲間と手をつなぐ行為や、円陣やハイタッチを行わない。

（４）試合が終了したチームは、速やかに会場を離れるようにすること。

イ　マスクの着用

（１）大会関係者（大会役員、審判員、チームスタッフ、選手等）および来場者は、各自マスクを準備し、プレー中ならびに昼食時等をのぞいて、原則マスクを着用して参加する。

（２）試合に臨む際の選手及びチームスタッフのマスク着用については、以下の通りとする。

①試合に臨むすべての選手は、合同練習開始から試合終了まで、マスクを外しても良い。
ただし、それ以外は着用する。（合同練習前のアップはマスクを着用して行うこと。）

②チームスタッフは、試合中においてもマスクを着用する。

（３）マスクを着用していても、声をそろえての応援は行わないこととする。（選手・スタッフ・観戦者）

ウ　手洗いなどの徹底

（１）大会本部において、こまめな手洗い消毒が行えるよう、大会会場と連携して石けんや消毒液等を設置する。出場校においても、各自消毒液等を持参し、感染防止に努める。

（２）チームスタッフ等は、こまめに流水と石けんで手洗いを行うとともに、消毒液等を用いて感染防止に努めるよう、選手に指導する。

（３）ベンチ等に消毒液を配置し、自由に使用できるようにするとともに、試合間には、役員による消毒液の噴霧および拭き取りを行う。

３　３つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

（１）今大会において、大会**会場（敷地内）に入場できるのは、**以下の通りとする。

①　選手は**１８名以内**とする。
選手についてはユニフォーム及びチームで統一した服装にて判断するので、チームスタッフの責任で人数について徹底すること。本部で不明な点が生じた場合は、チームスタッフに問い合わせ、適切な対応を求める。

②　チームスタッフは、監督・コーチ・マネージャーの最大３名とする。（マネージャーは生徒でも可。）
また、チームスタッフ以外の学校関係者は、３名までの入場を許可する。

③　保護者は、**各チーム６名まで**とする。
保護者は、ID カードをつけた者のみフロア（観客席）に入場することができる。体育館周辺での観戦は認めない。ID カードは協会ホームページにアップされるデータをもとに、各校で準備すること。また、送迎の保護者は選手の乗降のみ、敷地内に入場することができる。

④　その他：学校関係者のうち、教職員は学校の身分証明書をＩＤカードの代わりとすることができる。観戦は指定された場所（保護者席に設置された椅子）で行うこと。

（２）中学校会場では、各校１面開催とし、４校以上が集まることのないように試合を行う。

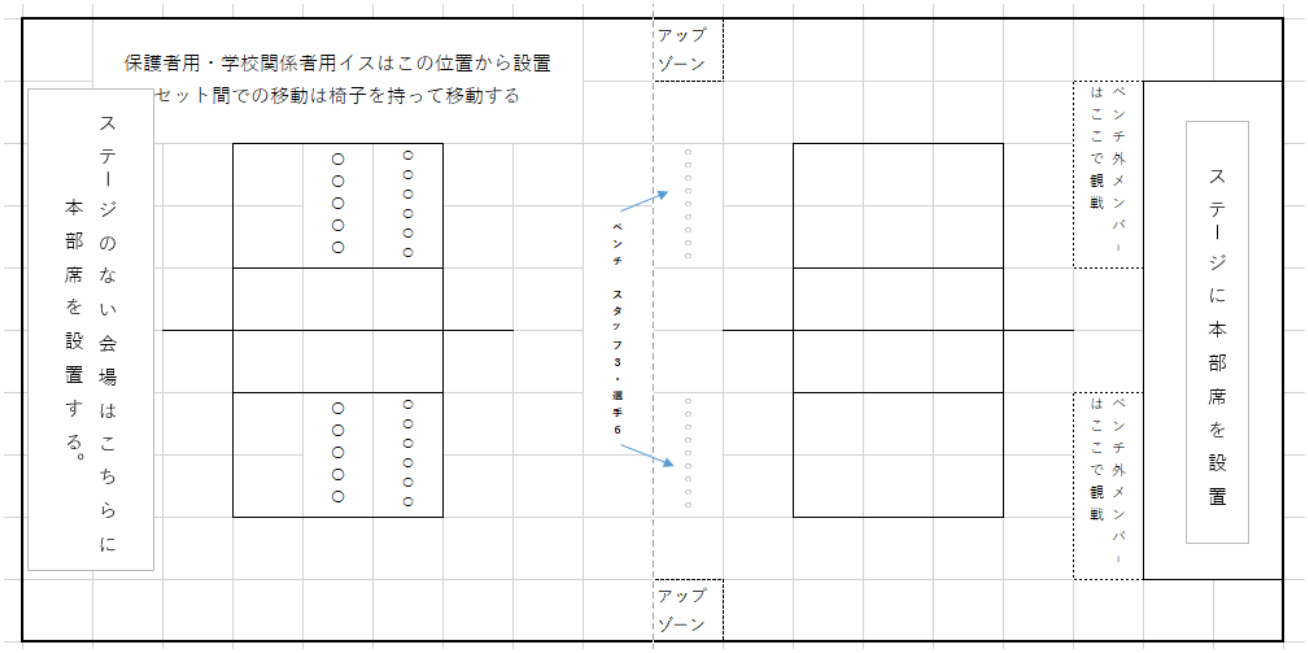
（３）控え室の利用は短時間とし、密集場面を極力避けること。また、控え室内でのミーティングは行わないこと。なお、控え室への保護者の入場は、緊急時以外許可しない。

（４）チームスタッフは各会場の指定された場所で観戦すること。

（５）ベンチならびに応援席についても、距離を取ってイスを配置するなど密集することのないように配慮する。（チームスタッフ用３・選手用６）

（６）保護者、学校関係者は、指定された場所にて座って観戦すること。
（７）昼食は密集することを避け、向き合って食べることがないよう指導しておくこと。

４　安全な活動環境の確保
（１）本大会の関係者（大会役員、チームスタッフ、選手、観戦する保護者）は、大会開始２週間前からの行動を、説明できるように準備しておく。
（２）参加校は感染症対策マニュアルを熟読の上、参加生徒の健康面を踏まえ、大会参加の可否を判断する。チームスタッフは、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、同意書（別紙１）を提出させる。同意書は、チームスタッフが大会当日に本部へ提出すること。
（３）選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意見聴取などが求められることも



想定し、チームスタッフや学校等と保護者が確実に、速やかに連絡が取れる体制を整えておくこと。

《学校会場のレイアウト（例）》